

2024 年度 日本財団 一般助成

「国連海洋科学の 10 年」の海洋政策学観点からの推進

(3) 若手人材(ECOP)による国際ネットワークの
構築サポート 報告

2025 年 8 月 31 日

日本海洋政策学会

1. 実施内容

「国連海洋科学の 10 年」に関連し、国際的に産学連携による若手の交流活動が展開されている中、我が国における海事・海洋分野を支える将来人材の育成に繋げるべく、国内の ECOP (Early Career Ocean Professionals ; 海洋若手専門家) 活動 (ECOP Japan) をサポートし、若手人材の育成を図った。2024 年度は、以下の 3 つの活動をサポートすることで、ECOP Japan 内でのネットワーキングの強化と拡大するとともに、アジア域での ECOP 活動の活性化を ECOP Japan として推進することに貢献した。

(1) ECOP Japan 広報用名刺の作成

ECOP Japan コミュニティの拡大と外部関係者への宣伝を目的として、ECOP Japan が運営するソーシャルメディアの QR コードを掲載した広報用名刺を作成した。

400 枚を印刷し、ECOP Japan の事務局メンバー 4 名が 100 枚ずつ担当して、それぞれのコミュニティでの配布を行った。これまでに、「国連海洋科学の 10 年」の国内委員会や関係イベント、所属機関を訪問した学生などに対して配布した。

(2) ECOP Japan Radio Podcast のサポート

ECOP の多様なキャリアパスの紹介、ならびに課題と期待の収集を目的とし、ポッドキャスト形式の対話を収録し Spotify において公開した (<https://open.spotify.com/show/5z5VXgbqbqY2z6DJDplftY>)。

2025 年 8 月時点で 8 本程度のエピソードを収録し、うち 4 本が公開されている。話題提供者としては、研究者や ECOP グローバルコーディネーター、NGO やユースネットワーク関係者を招待した。なお、高品質の収録をサポートするため、外付けマイク購入費用を助成した。

(3) ECOP Asia Stakeholder Map の作成

アジア域の ECOP のネットワーク形成や将来のキャリアパス検討の一助とするため、日本をパイロットケースとして「国連海洋科学の 10 年」に関連する諸機関を、地図上にインタラクティブな形で表示するシステムを構築した (<https://www.ecopdecade.org/asia/>)。このページにより、アジアのどこでどのような機関がどのような活動を行っているのかについて、直観的に概観することができる。

表示機関は随時拡大しており、2025 年 8 月時点において日本の機関を中心に 12 カ国 52 機関が掲載されている。今後、日本以外の国のステークホルダー情報を増やし、アジア域の ECOP に有益なツールとして展開していくことが期待されている。なお、この Stakeholder Map はアジア域以外からも好評を得ており、他の地域を対象とする同様の Map の作成も検討されているようである。

2. 成果物

ECOP Japan Card（カードデザインを添付） 400枚作成

（「国連海洋科学の10年」国内委員会委員や関連機関・大学等へ配布。今後、より広く配布を検討中。）

表面

裏面

横型



日本の海洋若手専門家
ネットワーク



JSOP 日本海洋政策学会

Supported by THE NIPPON FOUNDATION



Early Career Ocean Professional
Network in Japan



JSOP 日本海洋政策学会

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

表面

裏面

縦型